

## Contents

❖ 広島大学カーボンリサイクル実装プロジェクト 研究センター (HiCRiC) のご紹介	1・2
❖ 永井弁理士の知財戦略講座 第3回	3
❖ 活動報告	4
❖ スタッフ紹介	4
❖ 編集後記	4



## 広島大学カーボンリサイクル実装プロジェクト 研究センター (HiCRiC) のご紹介



### ■ 温室効果ガスの問題と国際的な取り組み状況

2015年12月のCOP21において、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を世界的に減らし、世界全体の平均気温の上昇を産業革命以前に対し気温上昇を2℃以内に抑制するとともに、1.5℃以内への抑制努力を継続することが決議されました。

日本においても2020年11月22日のG20サミットで、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする事を国際的に公約し、2021年4月22日の気候変動サミットで、2030年に向けた温室効果ガスの削減目標を、2013年度に比べて46%削減する目標を公表しています。

温室効果ガスのうち、最大の人為的な排出物が二酸化炭素であり、この二酸化炭素を削減するためには、化石燃料の燃焼に伴い発生する二酸化炭素の大气排出を抑制しなければなりません。

そのためには単一の技術的なプロセスのみならず、いくつもの解決策を組み合わせたプロセスや多くの並行した技術手段による解決が必要になるとともに、経済や社会活動、個人人のライフスタイルの面でも変革が必要になると考えられています。

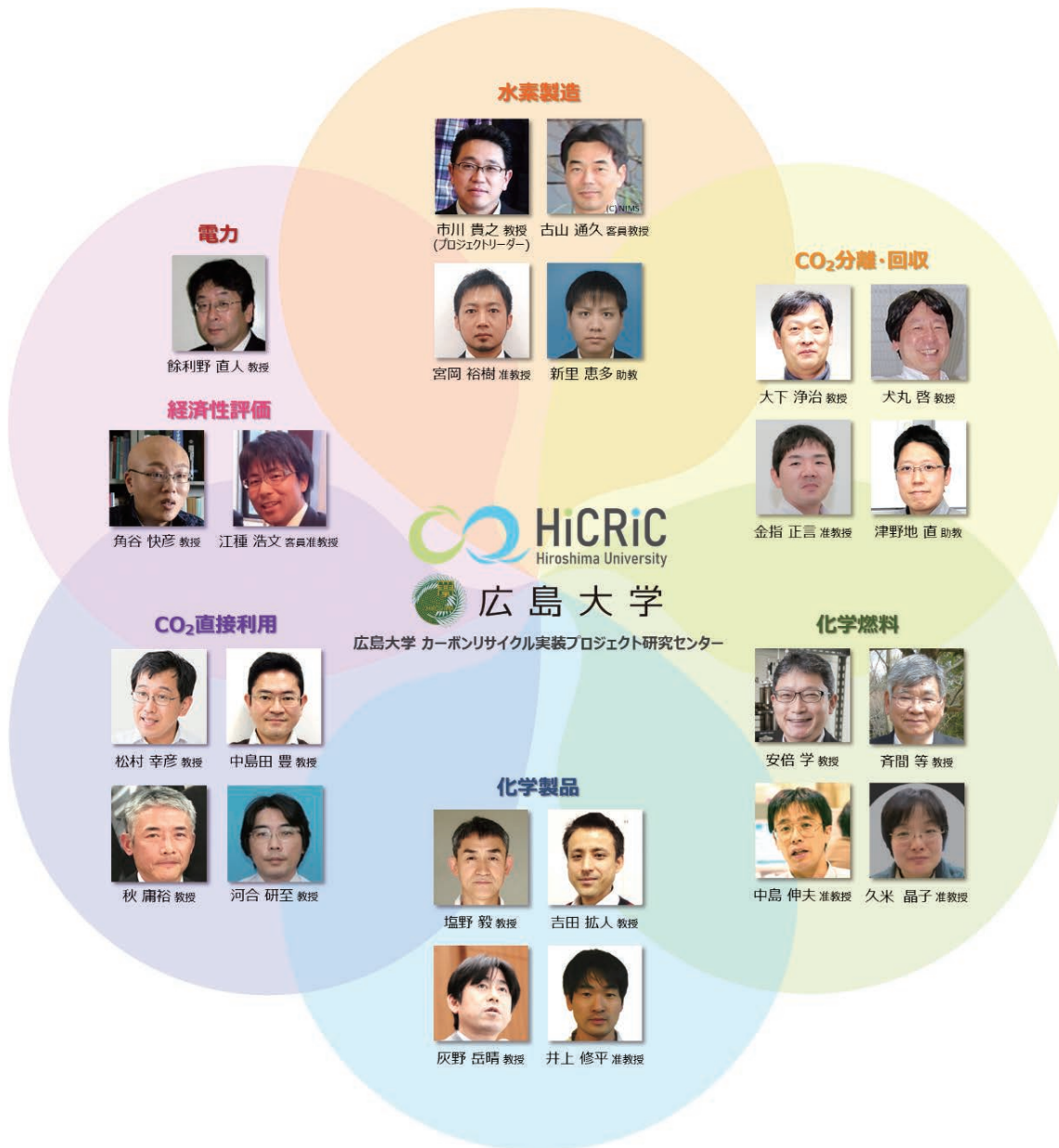
### ■ カーボンリサイクル実装プロジェクト研究センター設立の趣旨

このような社会要請に対し組織的な対応体制として、2021年2月1日に広島大学カーボンリサイクル実装プロジェクト研究センターを設立しました。

この研究センターには機械、化学、電力、生物などの多くの研究者が所属し、単独の研究者では解決が困難な社会課題に対し、多くの専門知識を結集し連携することで、様々な課題解決手段の提案を進めています。今後は同時に理工学分野の専門家のみならず、人文社会系分野の研究者も参集し分野横断的な研究力による、人類社会に対する変革的な課題解決手段の提案を目指します。

### ■ カーボンリサイクル実装プロジェクト研究センターの研究事例

- ・二酸化炭素の捕捉技術の研究
- ・再生可能エネルギー産出技術の研究
- ・エネルギー蓄積技術の研究
- ・二酸化炭素再利用技術の研究
- ・二酸化炭素の固定化技術の研究
- ・効率的なエネルギー利用技術の研究
- ・エネルギー転換技術の研究



## ■ カーボンリサイクル実装プロジェクト研究センターが出来ること

カーボンリサイクル・カーボンニュートラルに関して以下の対応が可能です。

- ・ 講義や講演
- ・ 学術指導、技術移転
- ・ ファンドや公募事業への共同提案
- ・ セミナー、シンポジウム開催
- ・ 共同研究、海外研究拠点との連携

## ■ 相談窓口

広島大学オープンイノベーション事業本部「お問い合わせ」より必要事項を入力してください。

<CONTACT | 広島大学オープンイノベーション事業本部 (hiroshima-u.ac.jp)>

## ■ HiCRiC マークの意味



Carbon Recycle のイニシャルである C と R が無限 (∞) にリサイクルするイメージを、カーボン (炭色)、水と水素 (水色)、豊かな自然 (黄緑色) の 3 色で表現しています。



## 知財都市伝説「特許権があれば市場を独占できる」

### <前回のあらすじ>

社長Aさんは、「座部」とそれを支える「脚部」を備えた椅子Aを発明し、特許請求の範囲がこれら2つの構成要素からなる特許出願Aをして、特許権Aを取得しました。特許権Aを取得したおかげで、Aさんは、椅子Aの「座部」の上後部に「背もたれ部」を付けた椅子B（椅子Bは、特許権Aの構成を全て含んでいます）の製造販売を止めさせることに成功しました。同時に社長Aさんは、椅子Bも特許権Aの権利範囲と考え椅子Bの製造販売を始めましたが、社長Bさん側から特許権Bの侵害行為を指摘され、椅子Bは市場から消えてしまいました。

背もたれのない椅子Aの売れ行きは芳しくありません。社長Aさんは、椅子Aの販売をしているホームセンター「ホームデポ」からも、椅子Bをもっと売りたいから何とかしてほしいとされています。

困った社長Aさんは、椅子Bを製造販売する方法はないものと弁理士Aに相談しました。すると、弁理士Aは、「できますよ。B社と特許権Bを実施するための実施許諾契約を結ばばいいんです。」と教えてくれました。そこでAさんは弁理士Aと一緒に社長Bさんのところに行き、社長Bさんが発明し、B社が保有する特許権Bの実施許諾をお願いしました。それを聞いた社長Bさんからは、「だったら、私も椅子Bの製造販売ができるようにしてください。」とお願いされました。

同席していた弁理士Bは、それなら、社長Bさんは、社長Aさんと特許権Aを実施するための実施許諾契約を結ばばよいことを教えてくれました。いわゆる、双方が互いに相手の特許権の権利範囲に含まれる製品を製造販売をできるクロスライセンス契約を結ばばよいということです。



クロスライセンス契約を結ぶことで、社長Aさんは特許権Bを侵害することなく椅子Bの製造販売ができるようになり、社長Bさんは特許権Aを侵害することなく椅子Bの製造販売ができるようになりました。「ホームデポ」は、社長Aさんと社長Bさんとがそれぞれ製造する椅子Bを販売できるようになりました。社長Aさんと社長Bさんが、自分の会社が製造した椅子をたくさん売ってもらえるよう、「ホームデポ」により安く卸すようになったことで販売価格が安くなり、ホームデポの店長は大喜びです。

市場を独占できると思って特許権を取得した社長Aさんと社長Bさんは当てが外れたようです。

## 教訓

特許権を取得しても他人に実施許諾すると市場を独占することはできない。





## 2/12~3/24 基礎的な学び直しの研修 「ブラッシュアップセミナー」を開催しました。

「ブラッシュアップセミナー」は会員企業の若手~中堅クラス技術者を対象に、ものづくりに有用な、系統的かつ継続的な学び直しの機会を提供することを目的として、公益財団法人ひろしま産業振興機構 ひろしまデジタルイノベーションセンターとの共催により、2/12~3/24の期間にて計10プログラムを実施いたしました。

今年度はコロナ禍での開催となったため、全ての講座を Zoom ウェビナーでリアルタイム配信するとともに、当日閲覧出来なかった方やもう一度授業内容を復習したい方向けに録画配信も行いました。また、長時間の web 視聴は受講者及び講師にとって過度な負担となるため、講義内容を複数日程に分け、長めの休憩時間を確保した上で実施いたしました。

広島大学 先進理工系科学研究科 杉尾准教授による「金属材料」をキックオフとし、最終テーマである同研究科 井上准教授による「熱力学・電熱力学」まで、計707名（録画配信も含めると計1,138名）の方にご参加いただきました。従来の対面講義とは異なる Web での受講という事で様々な制約が生じましたが、参加者は興味深く聴講され、チャットを用いた質問に講師が口頭で応じる等、活発な意見交換を行われていました。

今後も様々なプログラムを用意し、幅広い現場ニーズにお応えしていきます。

広島大学フェニックス協力会事業

共催：公益財団法人ひろしま産業振興機構  
ひろしまデジタルイノベーションセンター

※定員オーバーの場合は、お断りする場合があります。  
定員 100名 (先着順!)

### 2020年度 基礎的な学び直しの研修 ブラッシュアップセミナー

期間：2021年2月~3月  
時間：13:30~17:00 (15:00-15:30 休憩)  
開催方式：Zoomウェビナー  
※お申し込みが完了後、出席が出来なかった方や受講後に復習をした方向けに録画の準備をいたします。受講は原則10日間有効です。受講料は無料です。

参加条件：フェニックス協力会員  
※お申し込みの方は必ずお申し込みの際、お名前と所属を記載してください。お申し込み後、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。お申し込み後、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。お申し込み後、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。

プログラム	講師	講師所属
金属材料	杉尾 准	広島大学先進理工系科学研究科
熱力学・電熱力学	井上 准	広島大学先進理工系科学研究科
...	...	...

※お申し込みは、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。お申し込み後、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。お申し込み後、お申し込みの進捗状況を確認させていただきます。

お問い合わせ先：TEL: 082-424-4305 E-mail: techrd@hiroshima-u.ac.jp



### ■ スタッフ紹介 no.26

児玉 和弥 Kazuya Kodama

**担当業務**：産学官連携コーディネーター  
技術相談、教員紹介、共同研究受入れ、公的資金応募相談、大学発ベンチャー設立支援

**職歴等**：2014年広島大学法学部卒業後、地元金融機関勤務、2021年広島大学へ出向

《問い合わせ先》

TEL：082-424-4305 E-mail：kodamak@hiroshima-u.ac.jp

ひとこと：

地元金融機関から本年4月に出向して参りました。これまでは法人営業を主に担当しておりました。担当業務では、企業様からのご相談などについてクイックに対応することを心掛けてまいります。また、大学内でのベンチャー創出に向け、学生・教員の皆様からのご相談を幅広くお受けしてまいります。担当業務を通じて、広島大学の研究を社会実装するお手伝い、また広島大学の教育・研究のお手伝いできればと、使命感に燃えております。何卒よろしくお願いたします。

### 編集後記

梅雨らしい雨空や曇天が続いております。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。まだまだコロナ禍は続くことと思っておりますが、ワクチン接種もかなり進んでおり、きっとあともう少しと個人的には自分を励ましています。

とは言え現状はまだまだ厳しく、当会の総会も本年度は中止させていただくこととなりました。改めて文章でご案内いたしますが、決議事項については書面決議の予定です。

サービス面では先日、広島大学の有望な研究シーズを3件、動画で紹介いたしました。メールマガジンでもご案内しておりますので閲覧の申し込みをお待ちしています。今後ご要望がございましたらどんどんお寄せください。(K.Y)

